

コイノニア



みなさん、明けましておめでとうございます。2022年も神さまの導きのうちに、豊かな1年となりますようお祈りしています。

さて、1月14日は本校の創立記念日です。みなさんが聖書の授業で使っているバイブルノートには、開校時のことについて次のように記されています。

「1891年1月14日午後7時、25人の子どもたちが集まり、開校式が行われた。四国で最初のキリスト教教育による夜学校が誕生したのだ。」

今年(12日(水))にこのことを覚えて祈念礼拝をします。まず、朝7:00より「山路こえて」の碑の前で早天礼拝をします。その後、本当はみなさんに「芋がゆ」がふるまわれる予定でした。今年も感染対策のために中止となりましたが「芋がゆ」は、夜学校時代の生徒たちが、昼間働いてからお腹をすかせて夜学校に登校し、勉強する前に食べていた物です。現在の私たちにとっておかゆはとてつつましい食べ物で、体調を崩したときに食べる物というイメージがありますが、夜学校時代の貧しい生徒たちにとっては大変ありがたいものだったそうです。

8:45からの祈念礼拝では、西村清雄初代校長の愛唱聖句を読みながら、本校の歴史を振り返り、私たちに受け継がれている松山学院の精神について一緒に考えてみたいと思います。

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」マタイによる福音書6:33

また、創立記念をお祝いしてみなさんに配られる「労研饅頭」も、本校の歴史を語る際には決して無視することのできないものです。夜学校で奨学会が組織され、その一事業として製造・販売されたのが「労研饅頭」でした。生徒9名が従業員となり、松山夜学校奨学会として組織された「饅頭団」。1931年10月に製造が開始され、貧しい生徒たちが働きながら学ぶことができたのです。まさに、「全ての子どもたちに学ぶときと場所を与えたい」という創立者コーネリア・ジャジソン宣教師の思いを実現する事業となりました。みなさんも、配られた労研饅頭を食べながら創立者の思いを心に留めてほしいと思います。

聖書・キリスト教の漢字～これなんて読むの？～ #09 「公現日」

「公現日(こうげんび)」とは、マタイによる福音書で記されている占星術の学者たちが、生まれたばかりのイエスに会いに来た日のことを言います。キリスト教の暦では1月6日が公現日となっており、海外ではこの日までクリスマスの飾りが付けられることが多いです。

また、占星術の学者たちはユダヤ社会から見て異邦人(=外国人)ですが、公現日はイエスによる救いが、ユダヤ人だけではなく全ての人々に与えられるということを伝えています。

1月の予定 月間聖句

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」(マタイによる福音書6:33)

月間テーマ 12日(水)

「創立のときを振り返る」
7:00 創立記念早天礼拝(山路こえての碑の前)
8:45 創立記念礼拝(体育館)

私たちの学校の誕生日をみんなでお祝いしましょう！礼拝後には紅白の労研饅頭が全員に配られます。こちらも楽しみにしてください！

松山学院ものがたり #09 同志社で学んだ先輩たち(2) 重松 柁太郎



呉服店の長男として生まれた重松柁太郎は、中学校で反抗期を迎え、両親がとても心配するような行動が目立つようになりました。そこで松山中学校(現在の松山東高校)3年のときに夜学校の寄宿舎に入れられました。両親が西村清雄に息子の教育を頼んだのです。共同生活の中で聖書講義や祈禱会に集い、教会にも行くようになって、ようやく町でぶらつくことをやめました。それからは部屋で聖書を読み、学業にも努力し、洗礼を受けてクリスチャンになりました。家業の呉服店を夫婦にゆずって、同志社大学神学部で学ぶ決心をし、寄宿舎の友人だった二宮源兵を誘って2人で同志社大学に入学しました。1916年(大正5年)4月のことです。「松山バンド」の一員として神学部を卒業すると、大阪や熊本で牧師として働きましたが海外伝道を志し、アメリカのジャズやハワイの島々でキリスト教を伝えました。後に、同志社時代の友人「松山バンド」についての思い出を書き綴り、貴重な文献を残しました。ジャズン宣教師や西村清雄への感謝の気持ちをいつまでも持ち続け、帰国の際には必ず本校に立ち寄り、後輩たちにおいて礼拝説教をしてくれたそうです。

☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆ 卒業生による研修と交流!

2年調理科は修学旅行で「奈良 ホテルニューわかさ」を訪ねました。料理長の井戸本政満さんも2年目の竹下湧基さんも共に本校の卒業生です。お二人からは、お料理の説明はもちろんのこと、働くことについてや料理人についてなど、様々なお話を聞くことができました。最後にはクラスごとに記念撮影をし、生徒たちはサインももらっていました！井戸本さん、竹下さん、おいしいお料理ごちそうさまでした！！

